

2021年度 船舶関係諸基準に関する調査研究事業に係るIMOへの提案文書一覧

番号	プロジェクト名等	提案先	提案時期	表題	文書番号	提案の概要	IMOでの審議結果
1	IMO GHG削減戦略への対応に関する調査研究	MEPC 77	2021年8月	Draft amendments to MEPC.1/Circ.815 for verification of the wind propulsion system	MEPC 77/6	風力推進システムを搭載した船舶のエネルギー効率設計指標(EEDI)を計算できるよう、2013年革新的省エネ技術ガイドナンス改正案を提案する文書。	日本等が提案した改正案に基づき、改正革新的省エネ技術ガイドナンスが承認された。
2		MEPC 77	2021年8月	Draft amendment to the EEXI guidelines and associated guidance to incorporate the in-service measurement method	MEPC 77/7/2	既存船燃費規制(EEXI)に関し、EEXI計算ガイドライン及び検査認証ガイドラインの改正を提案する文書。	MEPC 76で設置されたGHG削減短期対策に関するコレスポネンス・グループにおいて、日本等が提案した改正案を更に検討することが合意された。
3		MEPC 77	2021年9月	Interim report of the Correspondence Group on Carbon Intensity Reduction	MEPC 77/7/10	日本、中国及び欧州委員会がコーディネータを務めたGHG削減短期対策に関するコレスポネンス・グループの中間報告書。	MEPC 78への最終報告に向けて引き続きコレスポネンス・グループで検討することが合意された。
4		MEPC 77	2021年9月	Revision of the Initial IMO Strategy on Reduction of GHG emissions from ships	MEPC 77/7/15	2018年に採択されたIMO GHG削減戦略に関し、2023年に開催予定のMEPC 80での改定を目指し、その進め方等(例えば、削減目標をより野心的なものとする)を提案する文書。	GHG削減戦略の改定に当たっては現行の目標よりも野心的な目標を設定することが合意された。
5	海洋水質・生態系保護基準整備に関する調査研究	MEPC 76	2021年4月	Comments on document MEPC 76/9/2	MEPC 76/9/6	MEPC 76に対し、欧州委員会及び欧州諸国から、議論の範囲の修正案、MARPOL条約附属書VIの修正案及びEGCS排水の環境リスク評価ガイドライン案を含む提案文書が提出された。この提案には手続き面及び内容面の懸念があるため、それらを指摘する文書。	時間の都合からMEPC 76において審議は行われなかった。
6		PPR 9	2022年1月	Background and outline on the combined draft guidelines for risk and impact assessments based on MEPC 76/9/2 and MEPC 76/INF.33	PPR 9/10/1	PPR 9におけるEGCS排水の環境リスク評価ガイドライン案に関する議論を促進するため、日本案と欧州諸国による案の統合案を作成した経緯を説明する文書。	2022年4月のPPR 9で審議予定。
7		PPR 9	2022年1月	Combined draft guidelines for risk and impact assessment based on documents MEPC 76/9/2 and MEPC 76/INF.33	PPR 9/INF.10	PPR 9におけるEGCS排水の環境リスク評価ガイドライン案に関する議論を促進するため、日本案と欧州諸国による案の統合案を示す文書。	2022年4月のPPR 9で審議予定。
8		PPR 9	2022年1月	Draft guidelines for improving performance of sewage treatment plants installed on existing ships	PPR 9/14/1	「既存船に搭載された汚水処理装置の改善ガイドライン案」を提案する文書。	2022年4月のPPR 9で審議予定。
9		PPR 9	2022年2月	Comments on the report of the Correspondence Group on Review of the Biofouling Guidelines	PPR 9/7/4	面積ベースで1%以上の侵略的な付着生物が見つかった場合にはドライドックで除去するべきという船体付着生物ガイドライン案に対して日本の懸念を表明する文書。	2022年4月のPPR 9で審議予定。
10	水中騒音対策検討に関する調査研究	SDC 8	2021年11月	Proposal on approach to the review of the 2014 Guidelines for the reduction of underwater noise from commercial shipping to address adverse impacts on marine life (MEPC.1/Circ.822)	SDC 8/14/3	水中騒音ガイドラインレビューに際し、水中騒音低減対策の検討に当たってはGHG削減対策に与える影響及び地域特性を考慮したアプローチを取ることすべきである旨を提案する文書。	ガイドラインレビューにおいて日本の提案文書も考慮することが合意された。
11	自動運航船の開発・実装に係る制度の研究に関する調査研究	MSC 104	2021年7月	Introduction of Maritime Autonomous Surface Ships (MASS) operations in IMO instruments	MSC 104/15/25	自動運航船の運航に係るIMO規則の導入のための新規作業計画を提案するもの。	我が国等の提案を踏まえ、「ゴールベース型自動運航船(MASS)規則の策定」が新規議題として設定され、MSC 105より具体的審議が開始される見込み。
12		MSC 104	2021年8月	Comment on documents MSC 104/15/17, MSC 104/15/25, MSC 104/15/26 and MSC 104/15/29	MSC 104/15/34	日本を含む各国が提出した新規作業計画案を簡単にまとめ、作業の重要性についての認識を示すコメント文書。	上記審議において、本コメント文書は考慮された。
13		MSC 105	2022年1月	Outline of the draft guidelines for MASS operations	MSC 105/7/2	ゴールベース型自動運航船規則の策定及び作業計画の審議に資することを目的として、自動運航船に関するガイドライン案骨子を提案するもの。	2022年4月のMSC 105で審議予定。
14	ガス燃料船・新液化ガス運搬船基準の策定に関する調査研究	CCC 7	2021年7月	Comments on CCC 7/3/Rev.1	CCC 7/3/8	低引火点燃料CGのまとめたレポートに対して、燃料電池を使用する船舶の安全に関する暫定ガイドライン案の防熱仕切りの要件についてのコメントするもの。	CCC7において審議されたが、支持が得られず暫定ガイドラインの審議において考慮されなかった。
15		MSC 104	2021年7月	Development of non-mandatory guidelines for safety of ships using ammonia as fuel	MSC 104/15/9	アンモニア燃料船の安全指針策定の新規作業計画を提案するもの。	時間の都合からMSC 104において審議は行われなかった。
16		MSC 104	2021年7月	Hazard Identification of ships using ammonia as fuel	MSC 104/15/10	2021年6月に実施したアンモニア燃料船のHAZIDに関する結果をまとめ、アンモニアの毒性によるリスクが特に大きく、船員の健康と安全確保の観点から慎重な検討が必要であることを提案するもの。	同上。
17		MSC 104	2021年7月	Necessity of deliberations on operational safety measures and fire safety measures	MSC 104/15/30	EU及びECがCCC小委員会のIGFコードの議題の中でアンモニア燃料船の安全指針策定の議論を開始する提案を出したことに對して、IGFコードのアンモニア燃料船への適用可能性や適合性について、科学的な議論無く予断することは不適切と指摘する文書。	同上。
18		MSC 104	2021年7月	Revision of the interim recommendations for carriage of liquefied hydrogen in bulk	MSC 104/15/11	液化水素のばら積み運送に関する暫定勧告(MSC決議420(97))を見直す新規作業計画を提案するもの。	同上。
19	目標指向型復原性基準に関する調査研究	SDC 8	2021年10月	Report of the Correspondence Group (Part 1)	SDC 8/5	日本がコーディネータを務めた第二世代非損傷時復原性基準に関する解説文書(Explanatory Notes)を検討するコレスポネンス・グループの報告書の第一部。	我が国がコーディネータを務めたコレスポネンス・グループの成果に基づき、SDC 8において第二世代非損傷時復原性基準の解説文書が最終化された。
20		SDC 8	2021年10月	Report of the Correspondence Group (Part 2)	SDC 8/5/Add.1	日本がコーディネータを務めた第二世代非損傷時復原性基準に関する解説文書(Explanatory Notes)を検討するコレスポネンス・グループの報告書の第二部。	同上。
21		SDC 8	2021年10月	Report of the Correspondence Group (Part 3)	SDC 8/5/Add.2	日本がコーディネータを務めた第二世代非損傷時復原性基準に関する解説文書(Explanatory Notes)を検討するコレスポネンス・グループの報告書の第三部。	同上。

22		SDC 8	2021年10月	Report of the Correspondence Group (Part 4)	SDC 8/5/Add.3	日本がコーディネータを務めた第二世代非損傷時復原性基準に関する解説文書(Explanatory Notes)を検討するコレスポネンシ・グループの報告書の第四部。	同上。
23		SDC 8	2021年10月	Report of the Correspondence Group (Part 5)	SDC 8/5/Add.4	日本がコーディネータを務めた第二世代非損傷時復原性基準に関する解説文書(Explanatory Notes)を検討するコレスポネンシ・グループの報告書の第五部。	同上。
24		SDC 8	2021年10月	Report of the Correspondence Group (Part 6)	SDC 8/5/Add.5	日本がコーディネータを務めた第二世代非損傷時復原性基準に関する解説文書(Explanatory Notes)を検討するコレスポネンシ・グループの報告書の第六部。	同上。
25		SDC 8	2021年10月	Report of the Correspondence Group (Part 7)	SDC 8/5/Add.6	日本がコーディネータを務めた第二世代非損傷時復原性基準に関する解説文書(Explanatory Notes)を検討するコレスポネンシ・グループの報告書の第七部。	同上。
26	救命設備諸基準改正の検討に関する調査研究	MSC 104	2021年7月	Ventilation requirements for totally enclosed lifeboats	MSC 104/3/2	SSEで合意された全閉型救命艇の換気要件に関するLSAコード改正案の優先的な承認を求める文書。	日本の提案に基づき、2026年1月1日に改正条約を発効させる臨時サイクルが導入された。
27		MSC 104	2021年7月	History of discussion on ventilation requirements for totally enclosed lifeboats	MSC 104/INF.11	文書MSC 104/3/2に関連して全閉型救命艇の換気要件に関する議論の経緯について情報提供する文書。	同上。
28		SSE 8	2021年11月	Modification of draft requirement for ventilation of liferafts	SSE 8/3/2	救命いかだの換気要件に対する修正案を提案する文書。	日本提案は審議の中で考慮された。
29		SSE 8	2021年11月	New test procedure for evaluating natural ventilation performance of survival craft	SSE 8/3/3	生存艇の換気性能を評価するための試験法の策定方法について論じる文書。	日本提案は審議の中で考慮された。
30		SSE 8	2021年11月	Example of evaluation of criterion for weather condition, based on possibility of ingress of sea water through an entrance of a liferaft	SSE 8/INF.3	救命いかだの入口からの海水流入を考慮した海気象条件の評価例を提供する文書。	日本が提供した情報は審議の中で考慮された。
31		SSE 8	2021年11月	Research on a new test procedure for evaluating natural ventilation performance of liferafts	SSE 8/INF.4	救命いかだの新たな換気試験法に関する調査研究の情報を提供する文書。	日本が提供した情報は審議の中で考慮された。
32		SSE 8	2021年11月	Marking requirements for lifejackets	SSE 8/8	欧州が提案するLSAコード改正案中の救命胴衣上の標示要件について必要十分な標示内容をコメントする文書。	日本提案が概ね合意され、SSE 8で設置されたコレスポネンシ・グループにて継続的に審議されることとなった。
33		SSE 8	2021年11月	Draft requirements for the righting test	SSE 8/8/1	欧州が提案するLSAコード及びMSC.81(70)改正案について救命胴衣の復正試験に関する問題点を指摘する文書。	SSE 8で設置されたコレスポネンシ・グループにて、日本の提案内容を考慮して継続的に審議されることとなった。
34		SSE 8	2021年11月	Spray hood requirements for lifejackets	SSE 8/8/2	欧州が提案するLSAコード改正案中の救命胴衣に付属するスプレイフードについて検討を要する論点を指摘する文書。	SSE 8で設置されたコレスポネンシ・グループにて、日本の提案内容を考慮して継続的に審議されることとなった。
35		SSE 8	2021年11月	Progress report of development of new righting test method for lifejackets	SSE 8/INF.5	復正性能に対する衣服の影響を模擬する浮力材を用いた新たな復正試験法の開発に関する進捗を報告する文書。	日本が提供した情報は留意された。
36	IMOフォロー 防火検討会	SSE 8	2021年12月	Comments on document SSE 8/6	SSE 8/6/4	コレスポネンシ・グループで作成されたRORO旅客船の火災安全に関するSOLAS改正案についてコメントする文書。	日本提案は審議の中で考慮された。
37		SSE 8	2021年12月	Comments on document SSE 8/18/1	SSE 8/18/6	陸電装置に関する暫定ガイドライン案について、語句修正を提案する文書。	日本提案は審議の中で考慮され、次回SSE 9で更に検討されることとなった。
38		SDC 8	2021年11月	Report of the Correspondence Group	SDC 8/9	日本がコーディネータを務めたコレスポネンシ・グループの報告書。	日本がコーディネータを務めたコレスポネンシ・グループの報告書に基づき、SOLAS II-1章D部(電気設備)の機能要件案が作成された。
39	IMOフォロー 船上揚貨装置及びアンカーハンドリングウィンチ検討会	SSE 8	2021年11月	Report of the Correspondence Group	SSE 8/9	日本がコーディネータを務めたコレスポネンシ・グループの報告書。	日本がコーディネータを務めたコレスポネンシ・グループの報告書に基づき、アンカーハンドリングウィンチのためのガイドライン案が最終化された。
40		SSE 8	2021年12月	Comments on document SSE 8/9/1	SSE 8/9/2	IACSが提案した船上揚貨装置のためのガイドライン案へのコメントに対して議論を前進させる方策を提案する文書。	日本が提案した方策が合意された。
41		SSE 8	2021年12月	Comments on document SSE 8/9	SSE 8/9/3	コレスポネンシ・グループで作成されたアンカーハンドリングウィンチのためのガイドライン案に対して修正を提案する文書。	日本が提案した修正が反映された。